

編集後記

◇今月号のグラビアは、本文に合わせて、4ページとも阿蘇火山の噴火を取り上げました。熊本市の麻生まゆみさん、阿蘇火山博物館の池辺伸一郎氏、熊本大学の渡辺一徳氏および京都大学阿蘇火山研究所の田中良和氏から貴重な写真を提供していただきました。厚くお礼申し上げます。

◇ご存知ですか？ 地質ニュースの読者層。地質ニュースは、通産省の関連機関や報道関係は勿論、全国の地学関係の大学や研究機関に行き渡っており、会社や個人の購読者も多数抱えております。より充実した読まれる雑誌にしていくことが編集委員会の役割であるわけですが、内容・レイアウトともまだまだ改善の余地があり、昨年12月号で一部紹介させていただいたような読者の皆様のご要望にはまだ充分答えられておりません。

◇ご存知ですか？ 地質ニュースの編集体制。企画立案と原稿収集や査読を編集委員会が、割付を事務局が分担しております。現在（1月）特集も含めて5月号までの原稿が受け付けられ、発行の遅れを取り戻すべく作業を進めております。12月号以来、グラビアのレイアウトを編集委員会がやって来ましたが、素人の悲しさ、なかなか商業誌のような訳にはいきません。

◇お願い。

○所内からの投稿には、右段に示した投稿規定のとくに5を守っていない原稿が時折見られます。見易い紙面を作るため、図や写真には特に注意して下さい。

○表紙やグラビアに用いるカラー写真は、プリント版の他に原版のポジ（スライド）を提出して下さい。プリント版のみの場合は、カビネ〜六切サイズのもの（表紙は六切以上）に限ります。

◇最近のトピックとして、沖縄トラフの熱水鉱床やODPがあります。これらについても担当者に執筆を依頼しております。

佐藤記

地質ニュース編集委員会

委員長：小川克郎

副委員長：鈴木尉元・佐藤興平

幹事：黒田和男・三村弘二

委員：三田直樹・岡村行信・尾上亨・笹田政克・佐藤岱生・鈴木祐一郎・武居由之・山口靖湯浅真人

事務局：総務部業務課広報係

〒305 つくば市東1-1-3 地質調査所

地質ニュース編集委員会

事務局 Tel. 0298-54-3520

Fax. 0298-54-3533

地質ニュースに寄稿される方へ

1. 地球科学各分野の最近の話題・総説・解説など多方面の原稿を募ります。
2. 原稿は図・表・写真を含め、原則として刷上がり15ページ以内とします。これをこえる場合は事務局に相談して下さい。地質ニュース原稿用紙（25×18字）4枚半が1ページに相当します。
3. ワードプロセッサ使用の場合も、A4判用紙に1行25字とし、行数は20行程度として下さい。
4. 句読点・引用符などもすべて1字とし、句点（.）の次は1字あけて下さい。地質ニュースでは従来読点（,）を使っておりませんが、今後は使用を認めます。
5. 図・表・写真は本文とは別に1枚1ページとして、それぞれに番号をつけるとともに、希望する掲載サイズを余白に記入して下さい。これらにつける説明文は、本文とは別の原稿用紙に書いて下さい。とくに図と写真は、縮小率を考え鮮明なものを提出して下さい\*。
6. 原稿の右欄外に図・表・写真の希望する挿入位置を鉛筆で記入して下さい。
7. 原稿は事務局に提出して下さい。編集委員会から受付カードを発行します。掲載は原則として受付順としますが、速報性の高いものは優先的に印刷したいと思います。

地質ニュース編集委員会

3月号予定目次

資源エネルギー環境問題とバイオテクノロジー  
 エネルギー資源と環境  
 地球表層の炭素の循環  
 オーストリアの Felbertal 層準規制型灰重石鉱床  
 ライマンコレクションを訪ねて  
 ライマン雑記

地質ニュース 第426号 1990年2月号  
定価 ¥670 千実費

1990年2月1日 発行  
 編集 工業技術院地質調査所  
 発行人 林久雄  
 発行所 株式会社実業公報社  
 東京都千代田区九段南4の2の12  
 〒102  
 Tel. (03)265-0951 (代表)  
 振替口座 東京1-32466  
 麹町局私書箱第21号  
 総発売元 株式会社実業公報社

©1990 Geological Survey of Japan  
●本誌は東京都中央区榊八重州ブックセンター本店に常備してあります。